

高圧蒸気滅菌可能

* **アキュディア™ RPMI 1640培地** ②

AccuDia™ RPMI 1640 Medium ②

L-グルタミン・炭酸水素ナトリウム不含

* ――― 開発の経緯および特徴 ―――

アキュディア™ RPMI1640培地は、RPMI (Roswell Park Memorial Institute) のDirectorであるDr.George E.Moore によって研究開発された浮遊培養用培地 (suspension culture medium)^{1),2)} で、George E.Moore, M.D. の許可 (1969年10月20日付私信) を得て作製された粉末培地です。

この培地によって、世界の多くの人々が、マウスやヒトの白血病細胞の初代培養および株継代維持に画期的な成果をあげています。また、この培地により白血病細胞以外の細胞も浮遊培養することができますので、KATO-Ⅲ (印環細胞がん) を始め多くのヒトがん細胞の培養にも用いられています。

本培地は、当社が特殊な製法により調合作製した培地で、当社が独自に改良³⁾ することにより、培地成分および細胞増殖支持力を損なうことなく、高圧蒸気滅菌可能な粉末培地を作ることになりました。

――― 基本組成 ―――

本品1L分 (10.2g) 中			
塩化ナトリウム……………	6,000mg	L-メチオニン……………	15mg
塩化カリウム……………	400mg	L-フェニルアラニン……………	15mg
硝酸カルシウム(四水和物)……………	100mg	L-プロリン……………	20mg
硫酸マグネシウム(無水)……………	48.84mg	L-セリン……………	30mg
リン酸二水素ナトリウム(二水和物)…	880mg	L-トレオニン……………	20mg
ブドウ糖……………	2,000mg	L-トリプトファン……………	5mg
L-アルギニン塩酸塩……………	240mg	L-チロシン……………	20mg
L-アスパラギン(一水和物)……………	56.8mg	L-バリン……………	20mg
L-アスパラギン酸……………	20mg	D-ピオチン……………	0.2mg
L-システイン塩酸塩水和物……………	72.9mg	パントテン酸カルシウム ……	0.25mg
L-グルタミン酸……………	20mg	塩化コリン……………	3mg
コハク酸……………	46mg	葉酸……………	1mg
コハク酸二ナトリウム(無水)……………	98.85mg	myo-イノシトール……………	35mg
グルタチオン……………	1mg	ニコチン酸アミド……………	1mg
グリシン……………	10mg	p-アミノ安息香酸……………	1mg
L-ヒスチジン塩酸塩水和物……………	20.3mg	ピリドキシン塩酸塩……………	1mg
L-ヒドロキシプロリン……………	20mg	リボフラビン……………	0.2mg
L-イソロイシン……………	50mg	チアミン塩酸塩……………	1mg
L-ロイシン……………	50mg	シアノコバラミン……………	0.005mg
L-リジン塩酸塩……………	40mg	フェノールレッド……………	5mg

別に添加すべきもの

L-グルタミン (ろ過滅菌) ……………	0.292g
10%炭酸水素ナトリウム水溶液 (ろ過滅菌または気密状態で高圧蒸気滅菌) ……	適量

* ――― 使用法 ―――

本品10.2gを蒸留水に溶解し、全量を1,000mLとします。培地が完全に溶解したのち121℃で15分間高圧蒸気滅菌します。高圧蒸気滅菌後、室温まで冷やした培地に、別にろ過滅菌または気密状態で高圧蒸気滅菌しておいた10%炭酸水素ナトリウム水溶液を適量加えます (18.0~30.0mLを加えた場合、5%CO₂ガス下、37℃でのpHは7.1~7.4)。すぐに使用をしない場合は、密栓して冷暗所 (2~10℃) に保存して下さい。

使用前に、別にろ過滅菌したL-グルタミン0.292gを加えて下さい。別売の無菌凍結乾燥・アキュディア™ グルタミン (Code 05908) を用いると便利です。目的に応じて適量の血清を加えます。

――― 使用上または取扱い上の注意 ―――

本品は研究用試薬であり、体外診断薬ではありません。また、ヒトまたは動物の治療に用いるものではありません。

1. 使用上の注意事項

本品には、L-グルタミンが含まれておりません。

2. 一般的な注意事項

- 1) 各製品のラベルまたは添付文書に記載されている使用法、注意をよく読んでから使用して下さい。
- 2) 使用期限が過ぎた製品は品質を保証できませんので使用しないで下さい。
- 3) 容器の破損、培地に異物が混入したものは使用しないで下さい。
- 4) 本培地粉末の開封後はなるべく早く使用して下さい。保存する場合は密栓して汚染、吸湿等に注意して下さい。

3. 危険防止上の注意事項

- 1) 培地・試薬等が目や口に入った場合には、水で十分に洗い流し、医師などに相談し、指示を受けて下さい。
- 2) 検体に接触した器材、培地等は感染の危険があるものとして取扱って下さい。

4. 廃棄上の注意事項

使用後の培地・試薬・器材等はオートクレーブ等で滅菌処理したのち、廃棄物に関する規定に従って医療廃棄物または産業廃棄物等に区別して処理して下さい。

――― 貯法・使用期限 ―――

〔貯 法〕
密栓して乾燥した冷暗所 (2~10℃) に保存してください。

〔使用期限〕
製造後1年間。
ラベルに表示してあります。

* ――― 包装単位 ―――

アキュディア™ RPMI 1640培地②100g …………… Code 05918

――― 主要文献およびお問い合わせ先 ―――

- 〔主要文献〕
- 1) Moore, G. E. : J. A. M. A., **199**, 519~524, 1967.
 - 2) Morton, H. J. :In Vitro, **6**(2), 99~100, 1970.
 - 3) 公開特許公報 昭57-155989, (公開 昭和57年 (1982年) 9月27日)
「高圧滅菌型RPMI1640培地」

* 〔お問い合わせ先〕

〒110-0005 東京都台東区上野 3-24-6
島津ダイアグノスティクス株式会社 カスタマーサポート担当
電 話 03 (5846) 5707

* 製造販売元

島津ダイアグノスティクス株式会社

東京都台東区上野 3-24-6 〒110-0005 TEL03 (5846) 5611(代)
(SY3D7S)